

リヤスパッツ 取付要領書

設定型式:N#P170G/N#P175G 設定グレード:全車


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスパッツの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- マフラー部分が熱を持っている間は絶対に作業を行わないで下さい。
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマー-K500を本品に添付)
- ⑧重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ⑧重要 ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- ⑧重要 ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa(5kgf/cm²以上)
- ⑧重要 ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

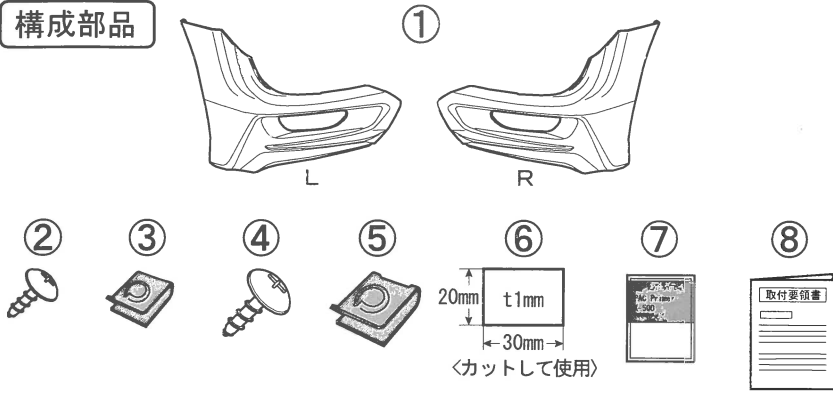
- リヤスパッツが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスパッツ及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスパッツとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

シエンタ モデルスタバージョン

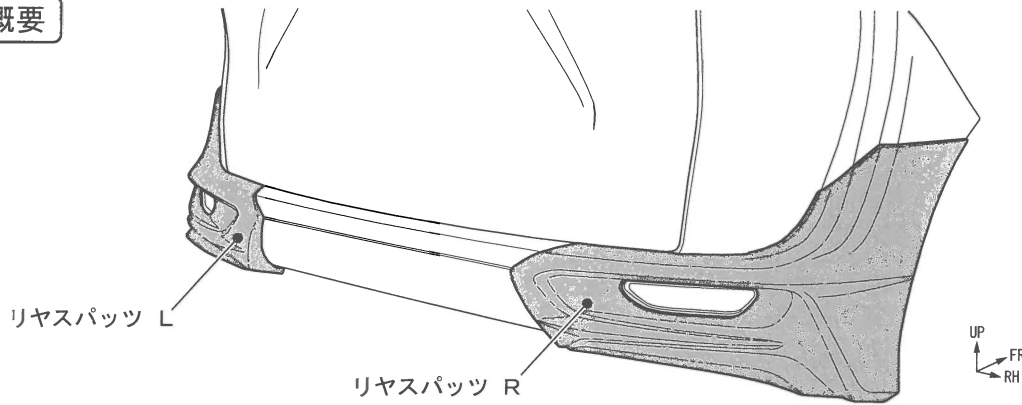
リヤスパッツ (品番 : D2641-59010-XX)

構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスパッツ (L/R)	1set
②	タッピングスクリュー (M4)	4
③	Uナット (M4)	4
④	タッピングスクリュー (M5)	2
⑤	Uナット (M5)	2
⑥	スペーサー	1
⑦	PACプライマー-K500	1
⑧	取付要領書	1

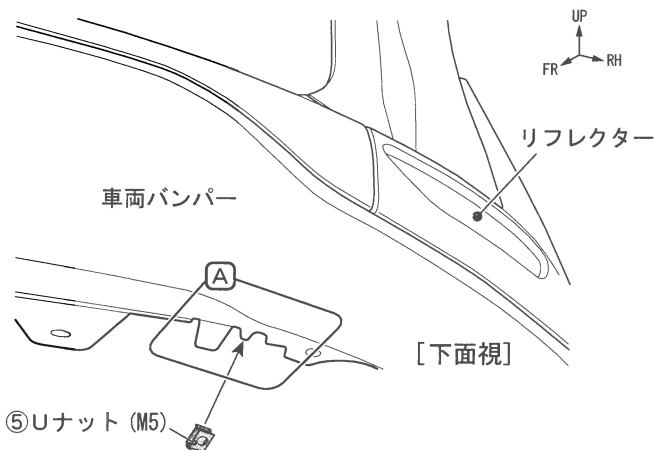
取付概要



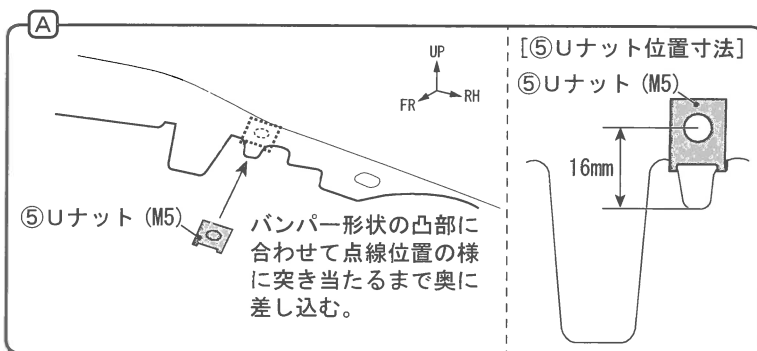
取付手順

(1) 仮組とプライマーの塗布

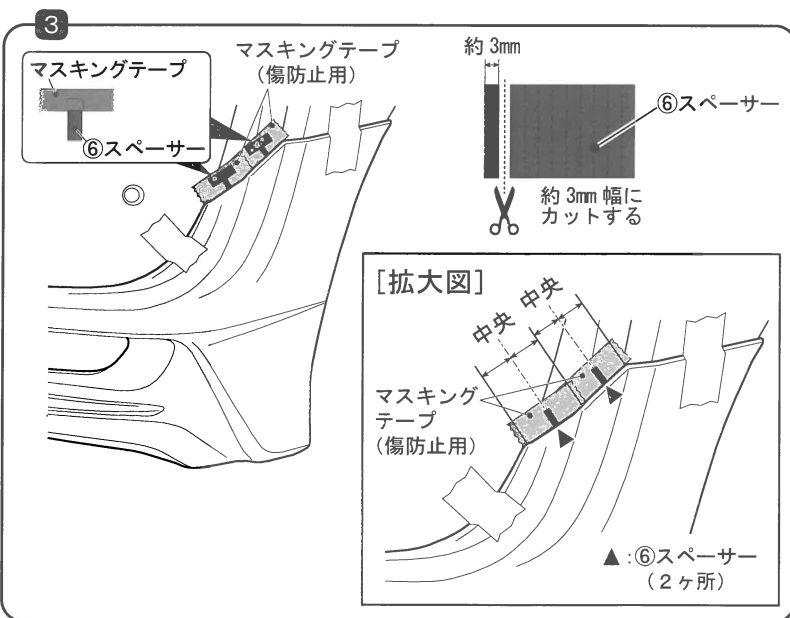
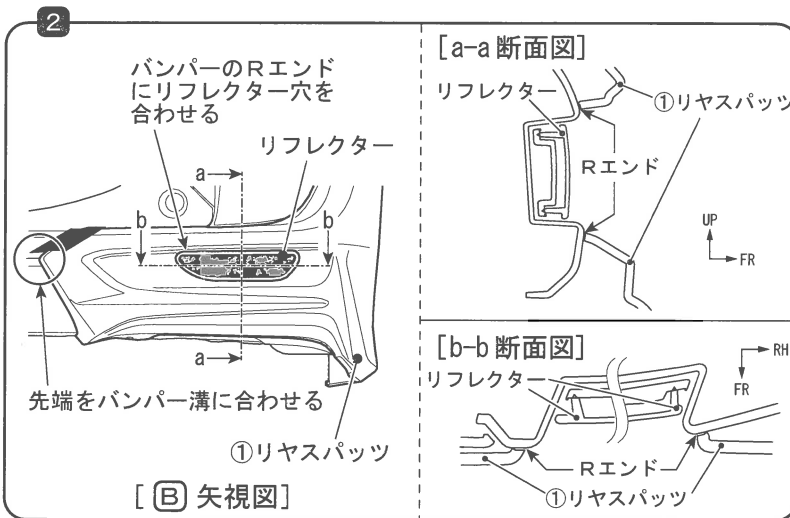
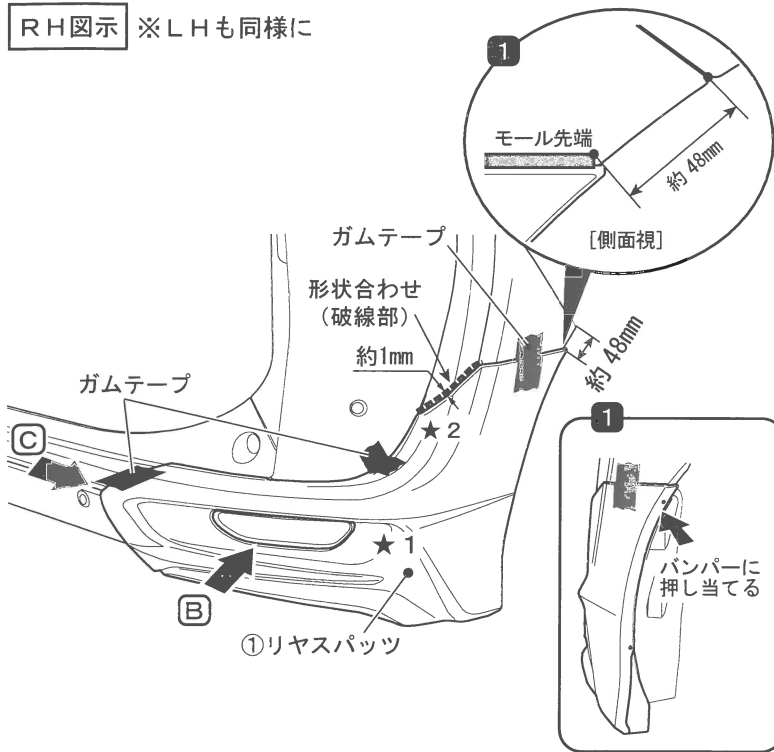
RH図示 ※LHも同様に



1. 車両バンパー下面の端末ラインの凸部に
⑤Uナットを差し込む。(左図参照)



RH図示 ※LHも同様に



2. バックドアを開け、①リヤスパッツをバンパーにかぶせ、以下の手順で仮組を行なう。

①: フェンダーアーチ部エンドモール先端を指示寸法(約48mm)に合わせてタイヤハウス取付穴をバンパーに押し当て、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

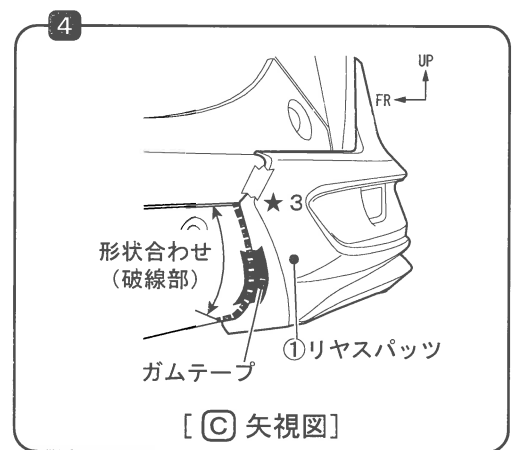
②: 図中★1を押さえ車両リフレクター部のバンパーRエンドにリヤスパッツのリフレクター穴を合わせリヤスパッツ先端をバンパーの溝に合わせてガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

③: 図中★2破線部に傷防止用のマス킹テープを貼り⑥スペーサーを約3mm幅でカットしてバンパーとリヤスパッツの間に差し込み、マス킹テープ等で固定する。⑥スペーサーにリヤスパッツを当て隙(約1mm)を作り、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

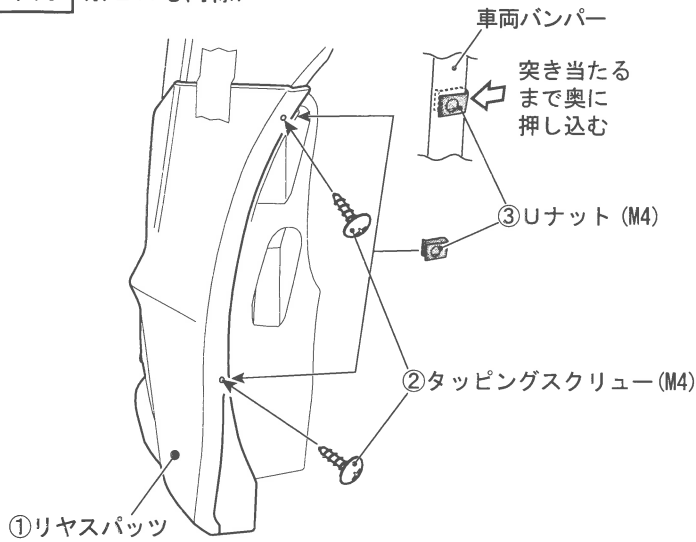
※★2部は両面テープ接着部の為に浮いていると接着が出来ず、剥がれの要因となりますので注意して下さい。

④: 図中★3を押さえ車両内側の形状(バンパー車体色の部分)破線部の範囲を隙が無くなる様に押し当てて下側をガムテープ等で仮固定する。(下図参照)

※★3部は両面テープ接着部の為に浮いていると接着が出来ず、剥がれの要因となりますので注意して下さい。



RH図示 ※LHも同様に



3. ③Uナット (M4)をフェンダーアーチ部取付穴に合わせて車両バンパーに差し込む。(左図参照)

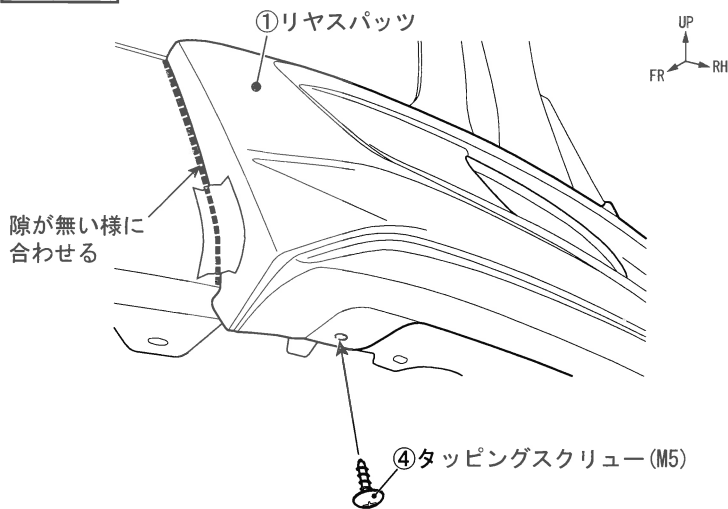
4. フェンダーアーチ部取付穴に合わせて取り付けした③Uナット (M4)に②タッピングスクリュー (M4)を左右4ヶ所仮締めする。(左図参照)

※必ずモール先端指示寸法 (48mm) になっている事を確認してから仮締めして下さい。

👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

RH図示 ※LHも同様に



5. 先に取り付けた⑤Uナット (M5)の位置に合わせ、④タッピングスクリュー (M5)で仮固定する。

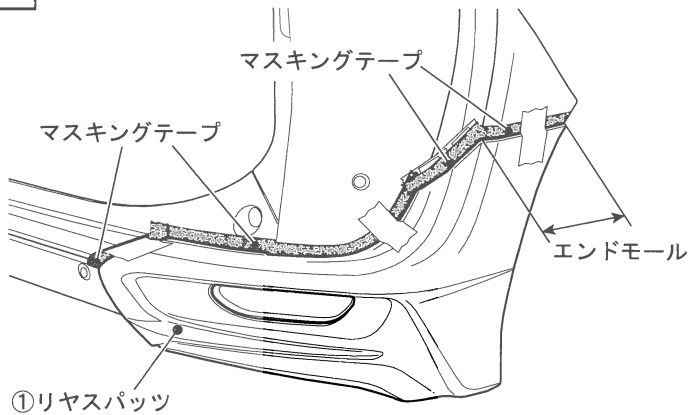
👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

👉 アドバイス

- ・LH側も同様に取り付け、取付位置に左右差が無いか確認して下さい。
- ・バンパーとリヤスパッツの隙が一定になっているか確認して下さい。
- ・リフレクターの見え方が左右合っているか確認して下さい。
- ・バックドア開閉時に干渉しないことを確認して下さい。

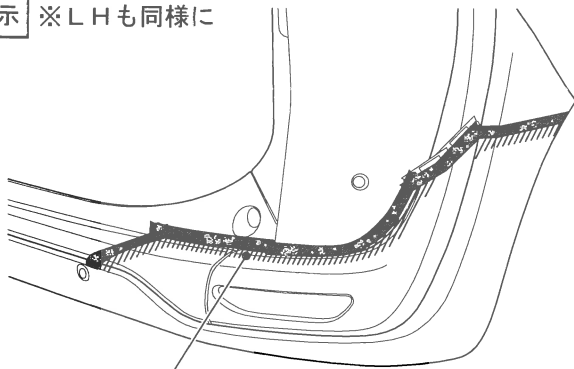
RH図示 ※LHも同様に



6. ①リヤスパッツのエンドモール上端と左図範囲にマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)


※⑥スペーサーは外さないで下さい。

RH図示 ※LHも同様に



脱脂及び⑦PAC プライマー K500
塗布範囲 (斜線部 約 30 mm均等幅)

- ①リヤスパッツを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を脱脂しする。
- 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に⑦ PACプライマーK500を塗布する。

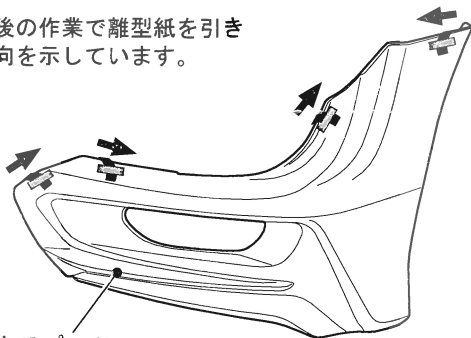
 アドバイス

- ⑦PACプライマーK500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ⑦PACプライマーK500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(2) 取付準備

RH図示 ※LHも同様に

※矢印は後の作業で離型紙を引き抜く方向を示しています。

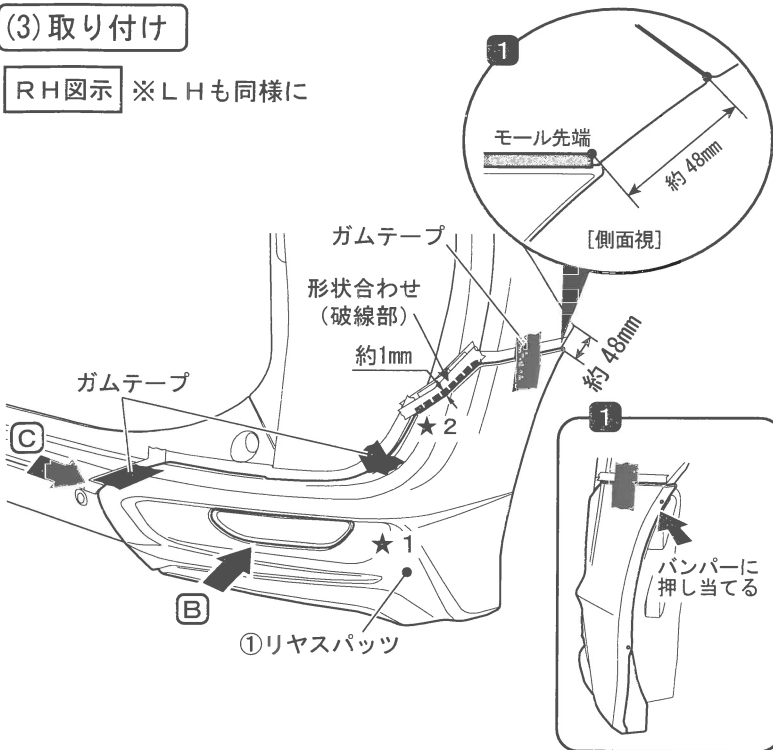


①リヤスパッツ

- ①リヤスパッツの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(3) 取り付け

RH図示 ※LHも同様に



1. ①リヤスパッツをバンパーにかぶせ、以下の手順で取り付けを行なう。

①: フェンダーアーチ部エンドモール先端を指示寸法(約48mm)に合わせてタイヤハウス取付穴をバンパーに押し当て、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

②: 図中★1を押さえ車両リフレクター部のバンパーRエンドにリヤスパッツのリフレクター穴を合わせリヤスパッツ先端をバンパーの溝に合わせてガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

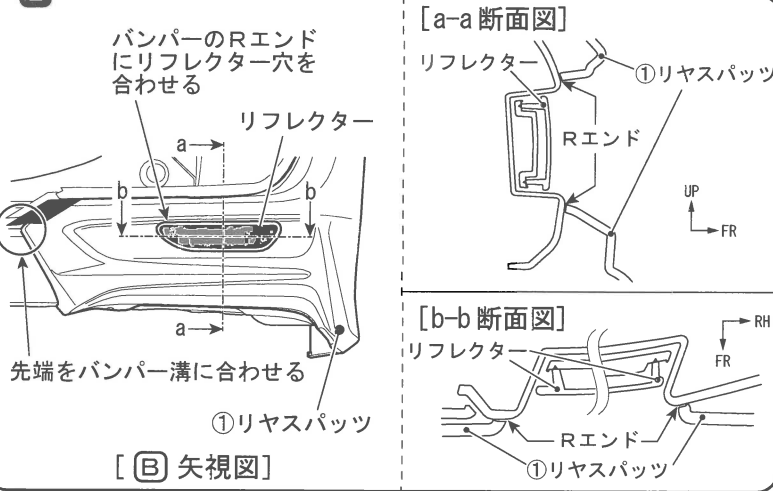
③: 図中★2破線部に先に取り付けた⑥スペーサーにリヤスパッツを当て隙(約1mm)を作り、ガムテープ等で仮固定する。(左図参照)

※★2部は両面テープ接着部の為に浮いていると接着が出来ず、剥がれの要因となりますので注意して下さい。

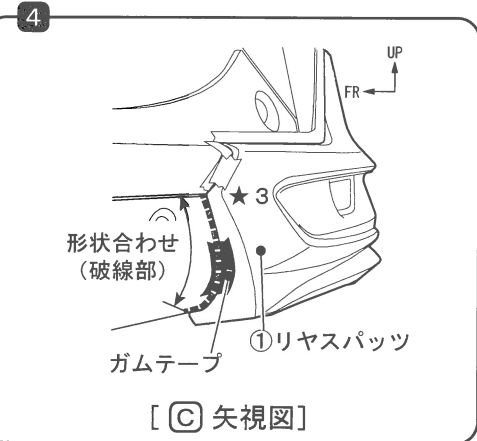
④: 図中★3を押さえ車両内側の形状(バンパー車体色の部分)破線部の範囲を隙が無くなる様に押し当てて下側をガムテープ等で仮固定する。(下図参照)

※★3部は両面テープ接着部の為に浮いていると接着が出来ず、剥がれの要因となりますので注意して下さい。

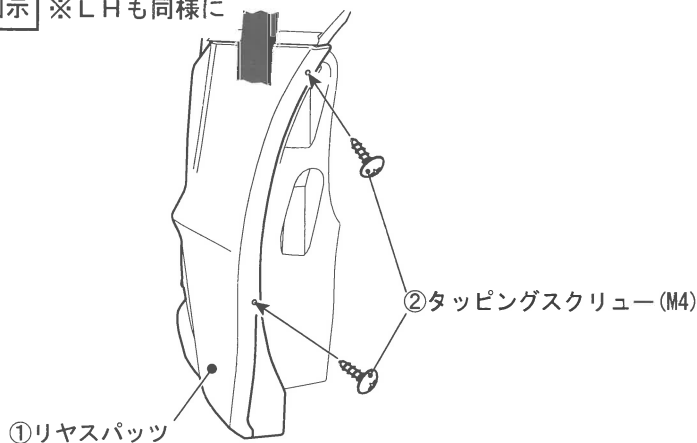
2



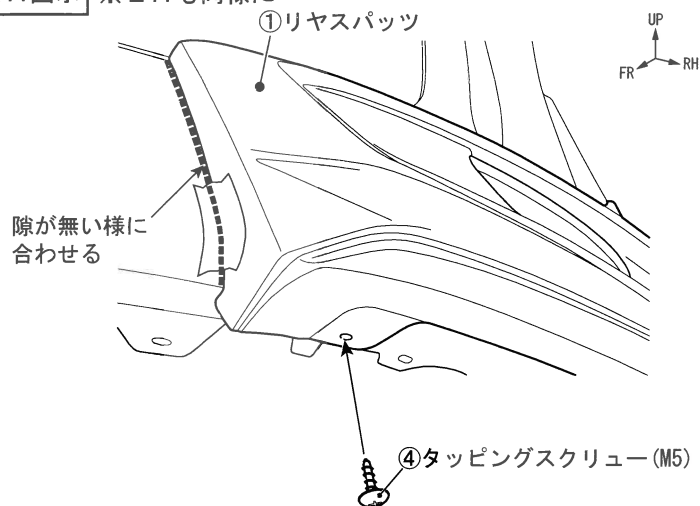
4



RH図示 ※LHも同様に

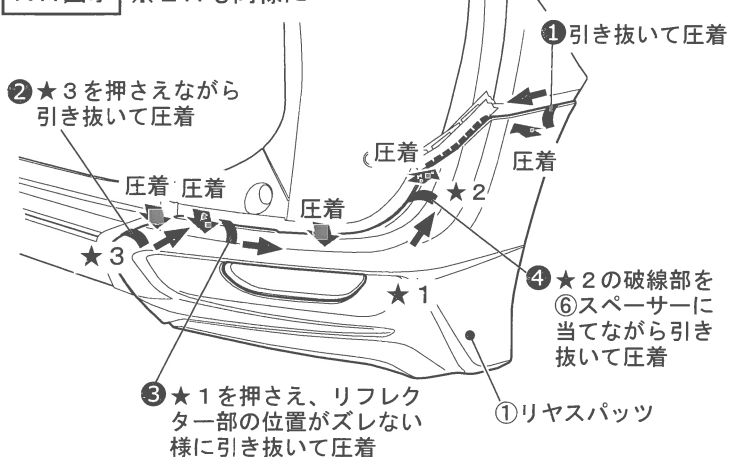


RH図示 ※LHも同様に



※離型紙を引き抜く順序

RH図示 ※LHも同様に



2. フェンダーアーチ部に取り付けた③Uナット (M4)に②タッピングスクリュー (M4)を左右4ヶ所仮締めする。

(左図参照)

※必ずモール先端指示寸法 (48mm) になっている事を確認してから仮締めして下さい。

3. ⑤Uナット (M5)の位置に合わせ、④タッピングスクリュー (M5)で仮固定する。

(左図参照)

アドバイス

- ・LH側も同様に取り付け、取付位置に左右差が無いか確認して下さい。
- ・バンパーとリヤスパッツの隙が一定になっているか確認して下さい。
- ・リフレクターの見え方が左右合っているか確認して下さい。
- ・バックドア開閉時に干渉しないことを確認して下さい。

4. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して、①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。(左図参照)

※離型紙を引き抜く際に、①リヤスパッツの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①スポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、500kPa (5kgf/c m²) 程度の力で行って下さい。

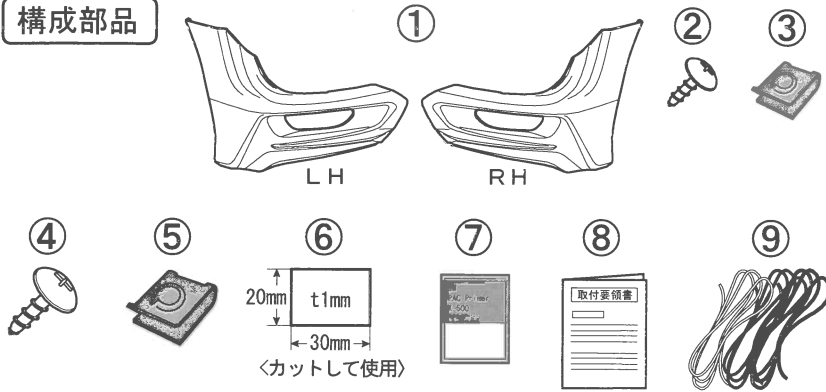
5. 全てのマスキングテープ及び、⑥スペーサーを剥がす。

6. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

7. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。(6ヶ所)

リヤスパッツ素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスパッツ (L/R)	1set
②	タッピングスクリュー (M4)	4
③	Uナット (M4)	4
④	タッピングスクリュー (M5)	2
⑤	Uナット (M5)	2
⑥	スペーサー	1
⑦	PACプライマー-K500	1
⑧	取付要領書	1
⑨	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は<PP>です。

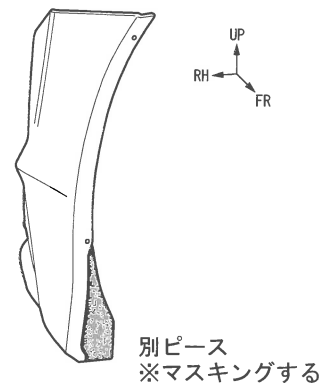
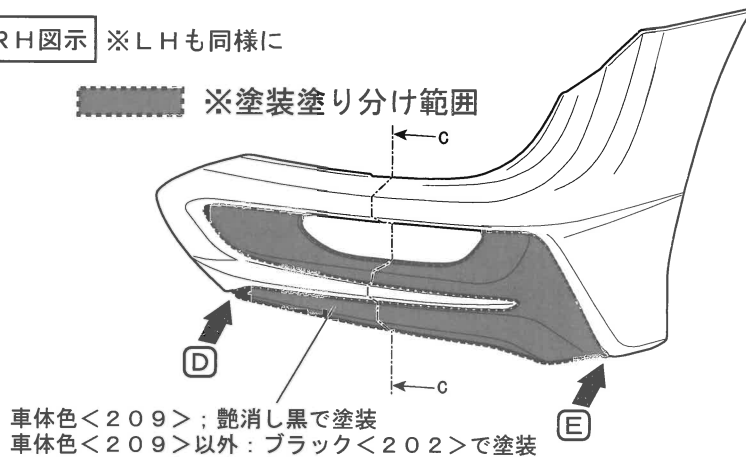
4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑨エンドモール推奨使用色

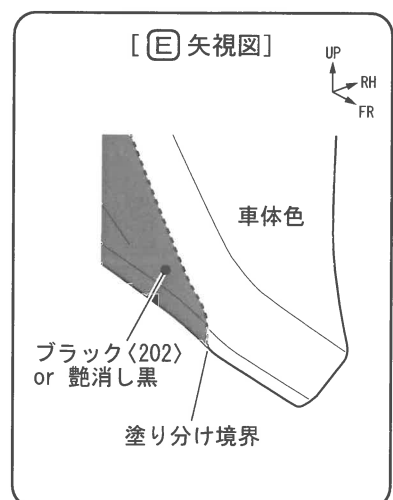
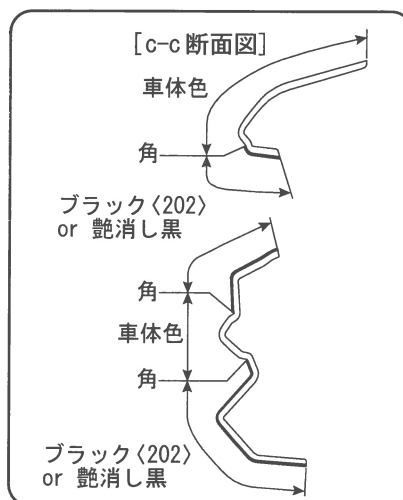
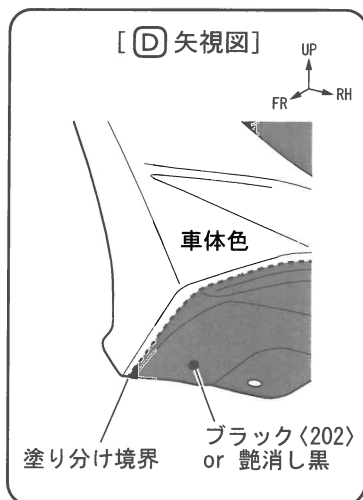
色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
4X4	ヴィンテージブラウンパールクリスタルシャイン	ブラック
5B6	エアージェロ	ライトグレー
6W9	ラディアントグリーンメタリック	ブラック
8T7	ブルーメタリック	ブラック

RH図示 ※LHも同様に

※塗装塗り分け範囲



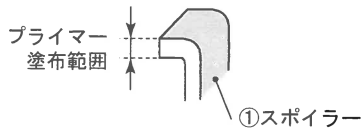
車体色<209>：艶消し黒で塗装
車体色<209>以外：ブラック<202>で塗装



エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑨エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑦PACプライマー-K500を塗布する。

PACプライマー-K500塗布範囲



アドバイス

- ・⑦PACプライマー-K500は①リヤスパッツ取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑦PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・⑦PACプライマー-K500塗布後は、常温で**10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑨エンドモールを貼り付ける。

アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

奥まで押し込む



隙間が空いている

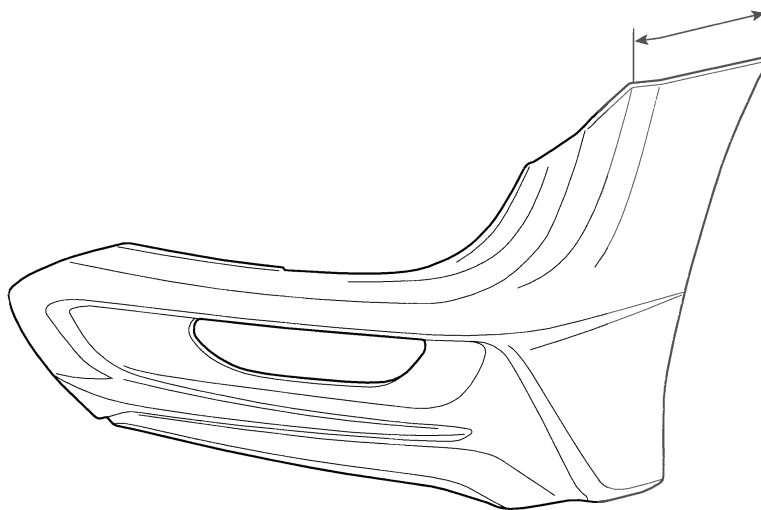


傾いている



RH図示 ※LHも同様に

裏面ケガキまで貼り付ける



補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してリヤスパッツの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

RH図示 ※LHも同様に

